

# 京都市山伏山町文書調査

疋田 彩花

## 1. 文化情報学ゼミと山伏山町文書

文化情報学ゼミは、授業「文化情報学実習」の一環として山伏山町文書（京都市中京区山伏山町所蔵）の調査を行ってきた。この調査は2016年4月から継続しており、また院生の授業「歴史情報学演習」「文化遺産学講義」として、ともに調査を進めてきた。山伏山町は中京区室町通蛸薬師下りに位置し、祇園祭の山に飾る御神体が山伏（浄蔵貴所）であるためこう呼ばれている。そして今年も授業に加え長期休暇の際に追加調査を行い、さらに整理が完了した文書を山伏山町に返却に伺った。

## 2. 調査参加者

東昇（教員）、竹中友里代（特任講師）、豊田祥子（博士課程前期2回生）、加藤叡（修士1回生）、有賀陽平・疋田彩花・廣瀬友佳（3回生）

## 3. 資料整理

資料整理は番号付け、ラベル張り、写真撮影、内容を解読の上、目録作成を行う。目録は、表題や年代、作成・宛名などをエクセルに入力していく。祇園祭に関する文書をはじめ、近世の町触や借家証文、近代の種痘関連文書、家の見取り図等も確認できた。文書は長持や箱・箆笥に保管されており、中にはさらに小さな箱に入れられている文書や、こよりで一括されている文書もあった。これらはその一括関係がわかるように写真撮影、目録取り、保存が行われている（写真1）。夏季休暇や冬季休暇の際には、1・2回生が古文書調査を体験できるように、院生、3回生とともに整理する企画を行った。

## 4. 山伏山町への返却

整理が完了した文書は、写真や目録の最終確認を行い2017年8月23日に山伏山町へ返却した（写真2）。山伏山町の町会所の奥に位置する蔵へ運び込み、蔵内の文書や祇園祭の道具などの所在を確認した。今回返却した文書は一部であり、今後も残りの文書調査を継続していく予定である。



写真 1 資料整理の様子



写真 2 町会所の蔵へ資料返却